

野々市で社会実験

DX活用まちづくり

オリコンサルら

オリエンタルコンサルタンツは、石川県野々市市から受託した「北国街道まちづくり基本計画策定業務」の一環として、グループ会社であるリサーチアンドソリューション（福岡市、清見光生社長）と中央設計技術研究所（金沢市、笠松英昭社長）、それに地元

の地域団体と連携してDX（デジタルトランスフォーメーション）を活用した社会実験イベント「IKERUN ONOICHI 2021」

を3日から7日までの5日間 にわたって開いた。

旧北国街道エリア内に点在する国指定重要文化財の喜多家住宅と市指定文化財の旧魚住家住宅、にぎわいの里のいちかみーノ、布市神社の4施設を会場とし、これを周遊する来場者の動向を把握して、野々市市が進める旧北国街道を中心とした「居心地が良く歩きたくなる」まちなか形成の実現可能性を検証した。



NEWS FLASH
企業動向

検証に当たっては、リサーチアンドソリューションが提供する情報発信プラットフォーム「ぷらり」をベースに、野々市市情報プラットフォーム「ののぷらっと」を開発。これに搭載されたデジタルスタンプラリー機能とGPS（全地球測位システム）ログ受信機能を活用し、社会実験の来場者の経路・滞在時間・総量などの回遊行動データを取得（延べダウンロード数248）し、動態分析を実施した。会期中、オリエンタルコンサルタンツが運営実施した喜多家住宅と旧魚住家住宅の延べ来館者数は1770人に

及んだ。

今後は、得られた回遊行動データに基づく動態分析結果と来場者・出店事業者などからの意見を踏まえ、官民連携による旧北国街道を中心とした「居心地が良く歩きたくなる」まちなか形成に向けた事業化実現を支援していく。